



平成31(2019)年度 収支予算と事業計画(要約)

平成31年度予算・事業計画のポイント

【平成31年度 重点事項】

NHK経営計画(2018年度~2020年度)

1. “公共メディア”への進化
2. 多様な地域社会への貢献
3. 未来へのチャレンジ
4. 視聴者理解・公平負担を推進
5. 創造と効率、信頼を追求

実現を追求



NHKが追求する 6つの「公共的価値」

- ① 正確、公平・公正な情報で貢献
- ② 安全で安心な暮らしに貢献
- ③ 質の高い文化の創造
- ④ 地域社会への貢献
- ⑤ 日本と国際社会の理解促進
- ⑥ 教育と福祉への貢献

【平成31年度 収支予算】

- 事業収入は、受信料の増収等により、前年度に対して79億円増の7,247億円
- 事業支出は、前年度に対して149億円増の7,277億円
4K・8Kスーパーハイビジョンや報道の強化、地域放送・サービス、国際放送の充実等に取り組む一方で、業務全般にわたる経費の削減を実施
- 事業収支差金は30億円の不足となり、財政安定のための繰越金を使用

収支予算(一般勘定)

(億円)

| 区分 | 平成30年度 予算額 | 平成31年度 予算額 | 増減額 | 増減率 |
|----------|---------------|---------------|-----|-------|
| 事業収入 | 7,168 | 7,247 | 79 | 1.1% |
| 受信料 | 6,995 | 7,032 | 36 | 0.5% |
| その他の事業収入 | 172 | 215 | 43 | 25.1% |
| 事業支出 | 7,128 | 7,277 | 149 | 2.1% |
| 国内放送費 | 3,424 | 3,523 | 99 | 2.9% |
| 国際放送費 | 260 | 265 | 5 | 2.0% |
| 契約収納費 | 628 | 636 | 7 | 1.2% |
| 給与 | 1,164 | 1,154 | △10 | △0.9% |
| 退職手当・厚生費 | 492 | 489 | △3 | △0.6% |
| 減価償却費 | 803 | 846 | 43 | 5.4% |
| その他の事業支出 | 354 | 362 | 8 | 2.4% |
| 事業収支差金 | 40 | △30 | △70 | — |

← 財政安定のための繰越金を使用

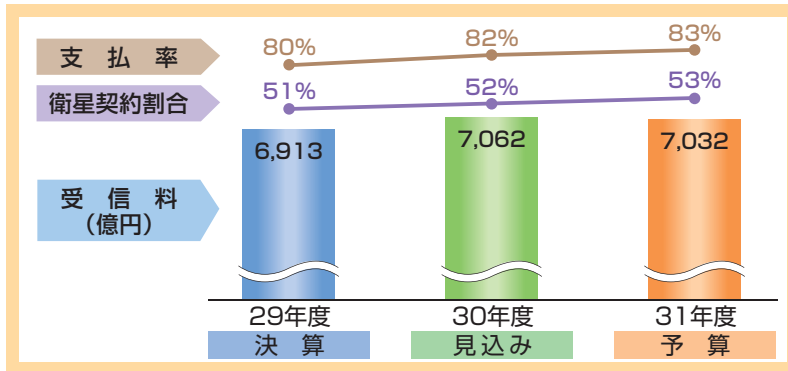
| 区分 | 30年度末見込み | 取崩し | 繰入れ | 31年度末見込み |
|-------------|----------|------|-----|----------|
| 建設積立資産 | 1,707 | △13 | — | 1,693 |
| 財政安定のための繰越金 | 1,061 | △182 | — | 878 |

← 事業収支差金の不足(△30)、建設費等(△152)に使用

受信料収入 (受信契約件数の増加等により7,032億円を確保)

- 受信料の公平負担に向けた取り組みを徹底 (支払率83%、衛星契約割合53%)

受信料収入等の推移



受信契約件数等の年間増減

(万件)

| 区分 | 31年度 計画 | 31年度末 |
|-----------------|---------|-------|
| 支払数 (A)-(B) | 47 | 4,107 |
| 契約総数 (A) | 43 | 4,182 |
| 未収数 (B) | △ 4 | 75 |
| 衛星契約数 (特別契約を含む) | 58 | 2,203 |

- 31年度は実質値下げを含む還元策を実施

1. “公共メディア”への進化

世の中の課題や最新事情、信頼できる情報を早く、深く、わかりやすく

- 広範なネットワークを生かして、正確で公平・公正な情報を、早く、深く、わかりやすく伝える
- インターネットを活用した情報収集や、データジャーナリズムなどの調査報道の手法なども取り入れながら、時代の節目を迎える日本と世界の“今”を、多角的に伝える



多様な情報を分析・視覚化、調査報道・減災報道に活用

より安全・安心な暮らしへ 防災・減災、緊急報道、復興支援を充実

- 全国ロボットカメラの整備・強化を図るなど緊急報道体制を整備し、大規模災害時も放送・サービスを維持
- 東日本大震災をはじめとする全国の被災地の復興を支援
- テレビ・ラジオ・インターネットを使い分けながら、的確な情報を発信



航空取材用ヘリからの中継による災害報道

多彩なコンテンツと最新の技術で、スペシャルな感動と体験を

- 国内放送 各チャンネルの編集のポイント

NHKG 幅広い世代から支持される魅力的な番組や現役世代・若年層に必要とされる番組を編成

Eテレ 10代を中心とする子ども・若者層との接点を拡大

BS1 “東京2020”に向けて、関連番組を編成、高まる関心に応える

BSプレミアム 週末の魅力ある超大型特集番組の充実

BS4K “土曜は4K” 4K独自番組を集中編成

BS8K 圧倒的インパクトのある新作コンテンツを日曜ゴールデンタイムに集中編成



大河ドラマ
「いだてん～東京オリムピック噺(ぼなし)～」



Coproduction 8K NHK・Château de Versailles
究極ガイドTV
「2時間でまわるヴェルサイユ宮殿」

- 字幕放送・解説放送・手話番組等の「人にやさしい放送・サービス」のさらなる拡充

日本のいまを世界へ、世界の動きを日本へ

- 「NHKワールド JAPAN」は、ニュース・番組の両面でテレビとインターネットの連携を一層加速
- 日本で暮らす外国人や日本を訪れる外国人に、日本への理解を深める情報・日本滞在時に役立つ情報を発信

NHKワールド JAPAN

NHK WORLD
JAPAN

外国人向け

〈テレビ〉(英語) ※JIB(日本国際放送)独自番組を含む
・訪日・在留外国人に向けた情報発信や多言語展開の推進
・1日24時間※ ニュース・情報番組等を放送
・160の国と地域で受信 3億2,674万世帯(30年10月末)

〈ラジオ〉(17言語)
・日本への理解促進に向けた日本語学習コンテンツの充実
・1日のべ40時間44分程度 日本のニュースや話題を発信

〈インターネット〉
・多言語コンテンツの拡充
・ニュース・番組の動画配信・音声やテキストの発信

NHKワールド・プレミアム(テレビ)

在外邦人向け

〔在外邦人向けテレビ国際放送〕
・1日5時間程度 ニュースを中心にノンスクランブル放送
〔テレビ番組配信〕
・1日19時間程度 ドラマ、子ども番組等を配信

NHKワールド・ラジオ日本

・1日24時間 最新のニュース・番組、安全情報を提供



〔NHK NEWSLINE〕



中国語でニュース・番組をライブ配信
〔NHK華語视界〕

2. 多様な地域社会への貢献

地域の魅力や課題を広く発信し、多様な地域社会に貢献

- 地域で暮らす人の視点から、役立つ情報、関心の高いテーマ、固有の課題などを積極的に取り上げ、地域放送を通じて地域社会に貢献
- 大規模災害時や、各地に共通する課題については、NHKの全国ネットワークを活用し、迅速かつ的確に情報発信と解決に向けた対応を実施



金曜夜間の地域放送番組

3. 未来へのチャレンジ

「東京2020」のメッセージを、最高水準の放送とサービスで

- “東京2020”に向けて、オールNHKで推進する多様なプロモーション展開や、日本中が全員参加でつなぐ聖火リレーを全国の放送局と連携し全世界へ発信

オリンピック・パラリンピック関連番組
〔武井社のパラスポーツ真剣勝負〕



みなさまとともに新たなサービスを創造

- 視聴者のみなさまと番組のアイデアを出し合うイベントなどを開催し、新しいコンテンツやサービスを開発
- 新たな放送・サービスの創造に資する研究開発の推進

4. 視聴者理解・公平負担を推進

- 「視聴者のみなさまから、より必要とされるNHK」をめざし、理解促進活動をより積極的に展開
- 支払率の向上をめざし最大限努力するとともに、受信料の値下げを含む還元策を実施

受信料の値下げ等還元概要

◆ 負担軽減策 ◆

- ① 社会福祉施設への免除拡大(2018年4月～)
- ② 奨学金受給対象などの学生への免除(2019年2月～)
- ③ 多数支払いにおける割引※(2019年4月～)
- ④ 設置月の無料化(2019年10月～)

※多数一括割引と事業所割引または家族割引との併用等

◆ 受信料の値下げ ◆

- ① 消費税率引き上げ(2019年10月～)に伴う受信料額の改定を実施しない
- ② 地上契約と衛星契約を値下げ(2020年10月～)

5. 創造と効率、信頼を追求

「NHKグループ 働き方改革宣言」 (平成29年12月7日公表)

- 「働き方改革」などを通じて、創造性を発揮できる環境を確保
- グループ一体となり、効率的で透明性の高い組織運営を推進
- 「信頼されるメディア」をめざし、グループでリスクマネジメントを強化

NHKグループは、業務に携わるすべての人の健康を最優先に考えます
これまでの慣行を打破して、働き方を抜本的に見直します

1. 長時間労働に頼らない組織風土をつくります
2. 業務の改革やスクラップを進め、効率的な働き方を追求します
3. ワーク・ライフ・バランスの充実により人間力を高めます
4. 多様な人材がいきいきと活躍できる職場を実現します
5. 改革の取り組みを点検・検証し、常に改善を続けます

〈2年目の取り組み〉「新しいルールを守り、新しい働き方を実現」

インターネット活用業務

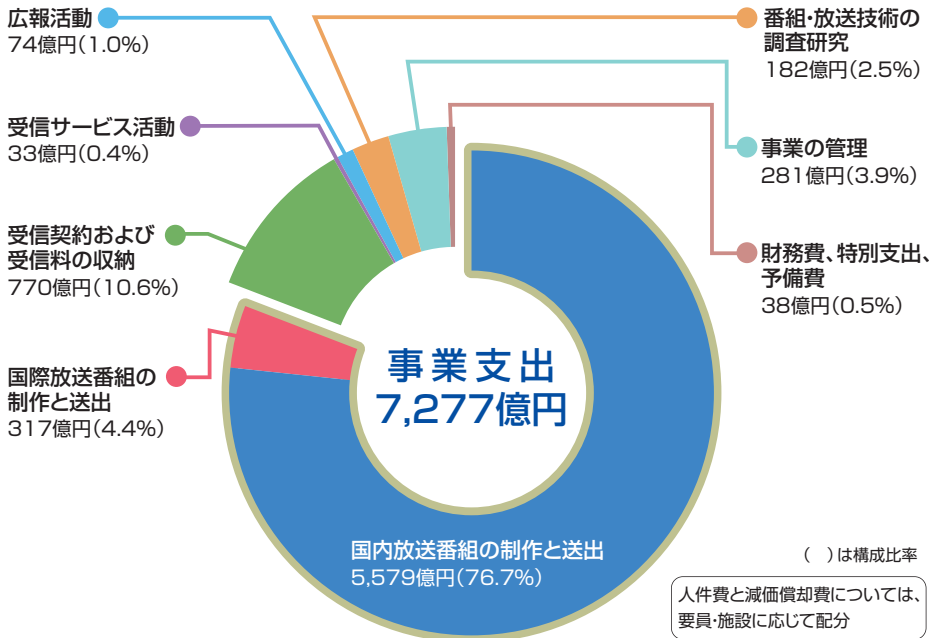
「情報の社会的基盤」としての役割を果たしていくために、インターネットならではの特性を生かした放送番組や関連情報を提供

- 気象・災害情報や避難所・ライフライン等に関する情報を提供
- 大規模災害時等、国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報を伝えるニュース・番組を、放送と同時に提供
- 東京オリンピック・パラリンピックを前に、スポーツの魅力を発信

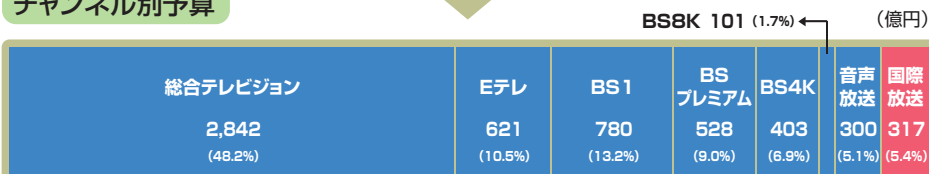


スマートフォン・タブレット端末向け公式アプリ「NHKニュース・防災」

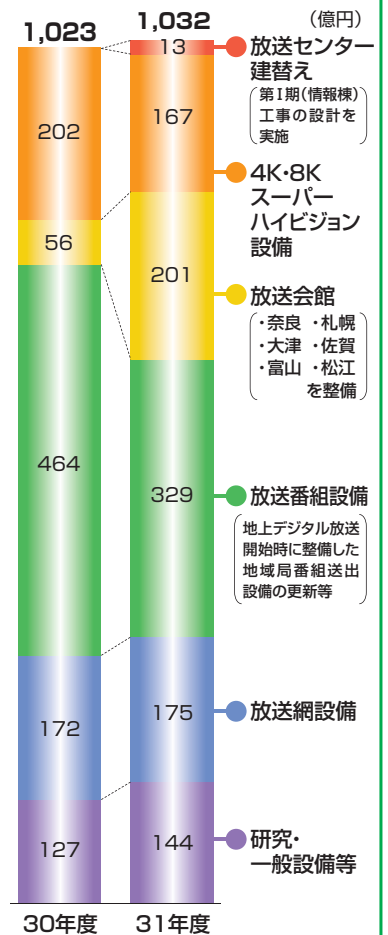
業務別予算



チャンネル別予算



建設費 (設備投資)



予算や決算に関する詳しい資料はNHKホームページでご覧になれます。 <https://www.nhk.or.jp/pr/>